

コミュニティ・スクールとは

－ 学校運営協議会実施に向けて －

鳥栖市立鳥栖西中学校

コミュニティースクールとは

○子供たちや学校を取り巻く環境が複雑化・多様化する中、子供たちや地域の輝く未来を創るためには「社会総掛かり」での対応、学校・家庭・地域による一体的な取組が必要となります。



- それを実現可能にする仕組みの一つが、
コミュニティ・スクールです。



地域や学校で、「このまま成り行きに任せていたら、将来まずいことになるのでは？」
ということはありませんか？真剣に向き合っていかなければならない「課題」はありませんか？

少子高齢化	学校の再編統合	学力向上	新学習指導要領	携帯電話・SNS
自治会未加入	人手不足	いじめ	道徳の教科化	日本語指導
子供会の解散	地域の担い手	部活動	外国語教育	小中一貫教育
地域行事・祭り	外国人居住者	不登校	プログラミング教育	放課後の居場所
伝統文化の継承	産業の撤退	PTA	教育のICT化	キャリア教育
空き家の増加	防災・防犯	働き方改革	子供の安心・安全	生徒指導

その中で、

- ① すぐに対策・対応が必要なもの
 - ② 時間をかけて対策・対応を講じる必要があるもの
- は何ですか？ また、それらが複雑に絡み合っていないですか？

コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）では・・・

Society5.0・グローバル化・（生産年齢）人口減少の進行・児童生徒への虐待の増加・貧困問題の深刻化・子供たちの規範意識や社会性等の課題・地域社会のつながりや支え合いの希薄化・複雑化・多様化した学校の課題に伴う教職員の勤務負担… etc.



○子供や学校の抱える課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、「**社会総掛かり**」での**教育の実現**が不可欠。



コミュニティ・スクール (学校運営協議会を設置した学校) について

子供や学校の抱える課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、社会総掛かりでの教育の実現が不可欠です。



社会総掛かりで教育を実現する上で、これからの公立学校は「開かれた学校」から更に一步踏み出し、**地域でどのような子供たちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことが重要です。**

学校評議員から学校運営協議会への発展

- 開かれた学校づくりに向けて一定の役割を果たしてきた**学校評議員制度**ですが、**校長の求めに応じて個人的に意見を述べてきた体制から**段階的に発展し、子供たちや地域の未来に向けて**学校・家庭・地域が「社会総掛かり」**で当事者意識をもって取り組めるよう、**学校評議員を学校運営協議会委員として任命します。**
- このことにより、委員は校長の求めに応じて意見を述べるだけでなく、**一定の権限と責任をもって「合議体」として学校運営そのものに意見を述べる**ことができるようになります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

学校運営協議会規則(教育委員会規則)

学校運営協議会 <合議体>

※合議体・・・複数の構成員の合議によってその意思を決定する組織体

コミュニティ・スクール
(学校運営協議会を設置した学校)



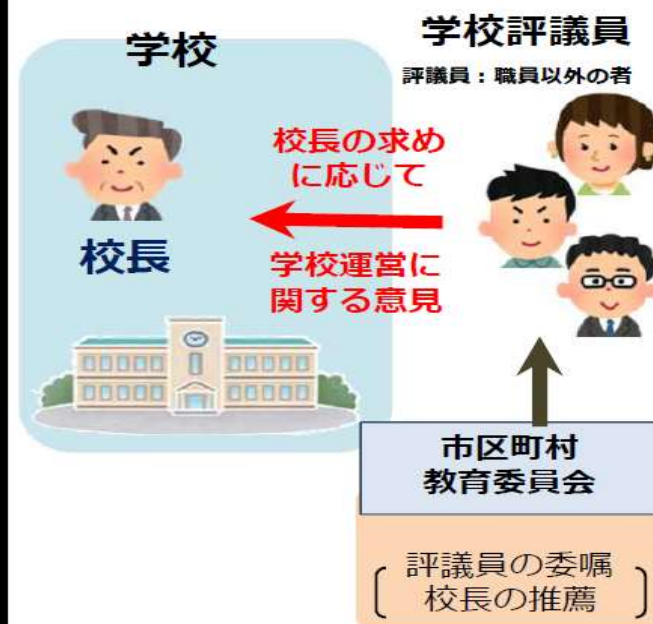
保護者や地域の方々が一定の権限をもって学校運営に参画することにより、「目標やビジョン」を共有して、社会総がかりで子供たちの健全育成や学校運営の改善に取り組むことを目的

学校教育法施行規則

学校管理規則

学校評議員

※合議体ではない



校長が、必要に応じて学校運営に関して、保護者や地域の方々の意見を聞くことを目的

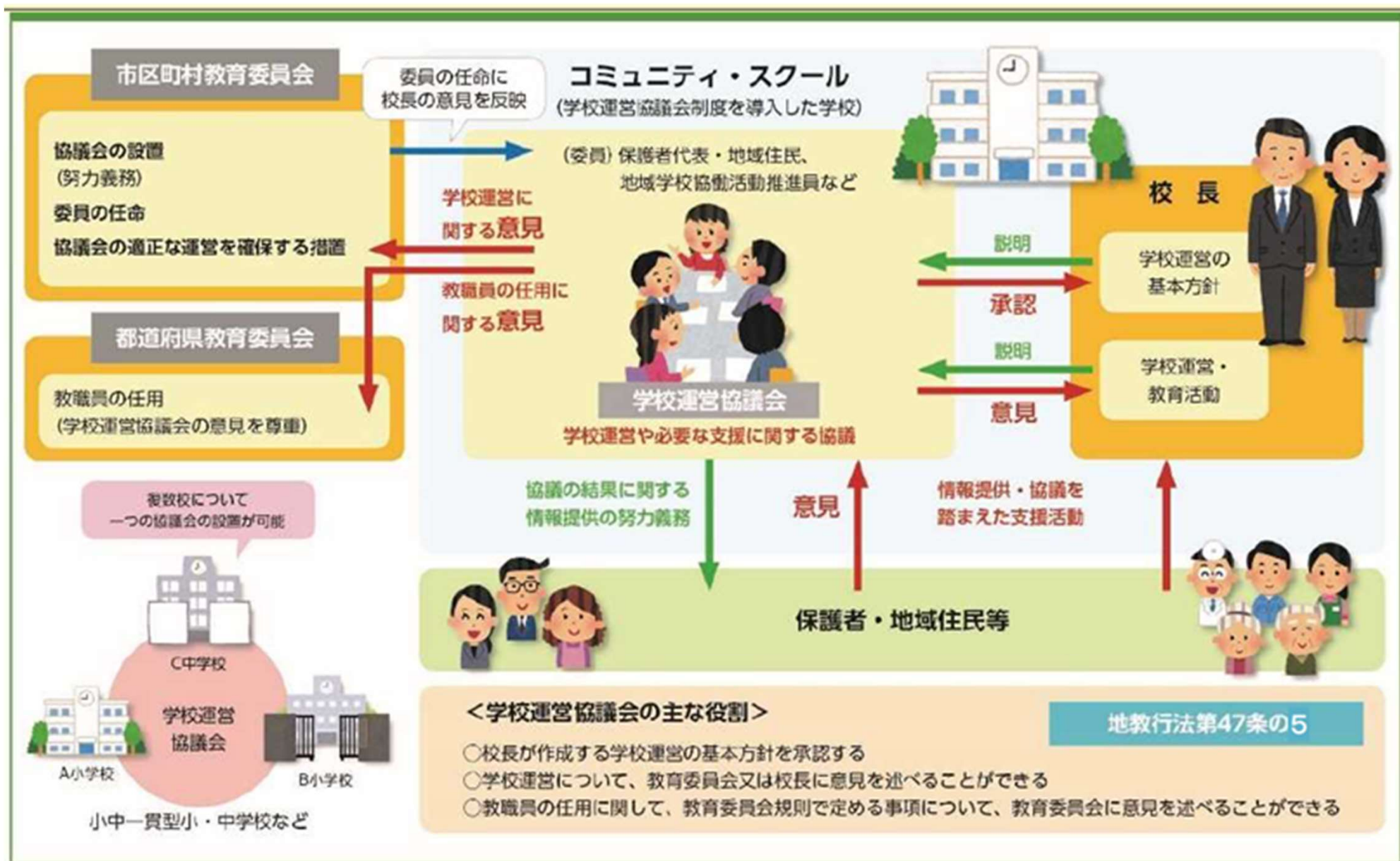
学校評議員の仕組みから「学校運営協議会」に移行することによる主な魅力・メリット

- ①学校運営協議会委員は、学校と「**対等な立場**」で**学校運営の当事者**として協議を行うことができる立場にあります。保護者や地域住民等の意見が学校運営に反映されることで、学校運営の改善・充実が期待できます。
- ②学校・家庭・地域において、**共通の目標やビジョン**を目指した取組（活動）が**可能**となります。
- ③コミュニティ・スクールの機能である「校長が作成する学校運営の基本方針の承認」を通じて、校長は、保護者や地域・住民等に対する**説明責任の意識が向上**するとともに、保護者や地域住民等の理解・協力を得た**風通しのよい学校運営**が可能となります。
- ④コミュニティ・スクールの場合には多様な人材の英知を結集することができるため、学校運営の改善に資するより確かな**PDCAサイクルを確立**しやすくなります。

学校運営協議会の主な3つの機能

- ① 校長が作成する**学校運営の基本方針を承認する。**
- ② **学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べる
ことができる。**
- ③ **教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項につ
いて、教育委員会に意見を述べる
ことができる。**

※**学校運営の責任者は校長であり、学校運営協議会が校長の
代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。**



コミュニティ・スクールのメリットは何？

① 組織的・継続的な体制の構築＝ 持続可能性

- 校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる「持続可能な仕組み」です。

② 当事者意識・役割分担＝ 社会総掛かり

- 校長が作成する学校運営の「基本方針の承認」を通して、学校や地域、子供たちが抱える課題に対して関係者がみな当事者意識をもち、「役割分担をもって連携・協働による取組」ができます。

③ 目標・ビジョンを共有した「協働」活動

- 学校運営協議会や熟議の場を通して、子供たちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子供を育てていくのか、何を実現していくのかという「目標・ビジョンを共有」できます。

コミュニティ・スクールの魅力は何?①

【子供にとっての魅力】

- 子供たちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。

【教職員にとっての魅力】

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。

コミュニティ・スクールの魅力は何?②

【保護者にとっての魅力】

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

【地域の人々にとっての魅力】

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。